



2025年2月3日
公益財団法人 日本ペア碁協会

「ペア碁ワールドフェスティバル 2025」

大阪・関西万博にて 2025年8月8日（金）～10日（日）

「世界遊び・学びサミット」内にて開催



公益財団法人日本ペア碁協会(東京都千代田区、松浦晃一郎理事長)は、2025年8月8日（金）～10日（日）の3日間、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のEXPO メッセ「WASSE」にて開催される、シグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」に参画し、「ペア碁ワールドフェスティバル 2025」を開催いたします。

大阪・関西万博のシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」にペア碁が参画。中島プロデューサーが主催するシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」内にて、囲碁・ペア碁に親しむ世界各地のアマチュア選手、日本国内のトッププロ棋士が参加する「ペア碁」の祭典を華やかに開催。ペア碁を通じて、平和の象徴としてそして世界各国・地域の人たちの交流の場を創ります。

■ペア碁ワールドフェスティバル 2025 基本情報

- 名 称 : ペア碁ワールドフェスティバル 2025
開催日 : 2025年8月8日(金)～10日(日)の3日間
会 場 : 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) EXPO メッセ「WASSE」で開催される
「世界遊び・学びサミット」内
参加国・地域 : 約40か国・地域(国内含む)から約300組600名(予定)
主 催 : (公財)日本ペア碁協会、世界ペア碁協会、
ペア碁ワールドフェスティバル2025大会実行委員会
共 催 : (一社)全日本囲碁連合
特別協力 : (公財)日本棋院 / (一財)関西棋院 他

■主要な大会・イベント(予定)

【1】第34回国際アマチュア・ペア碁選手権大会(9日、10日)

世界の男女アマチュア32ペア64名によるスイス方式のリーグ戦で5回戦を実施。優勝ペアを国際アマチュア・ペア碁選手権(IAPG杯)、日本代表の最上位ペアを全日本アマチュア・ペア碁選手権(JAPG杯)として表彰します。併催大会として、世界の高校生・大学生・大学院生16ペアを対象とした「松田杯 第9回世界学生ペア碁選手権大会」、一般公募による自由参加の「荒木杯ハンデ戦」も開催します。



【2】プロ棋士ペア碁選手権2025(9日、10日)

前年度優勝ペアを含む、日本を代表する男女トッププロ棋士8ペア16名が出場。3回戦のトーナメント戦を戦い、その年の国内最強ペアを決定します。出場するペアの組み合わせと、1回戦の対戦の組み合わせは、事前に抽選で決定します。

○前年優勝ペア



上野愛咲美女流立葵杯・芝野虎丸九段ペア

【3】ペア碁国際親善対局(8日)

オープニングセレモニーを開催する8日(金)に国内外の本大会に参加する選手や役員、囲碁関係者が民族衣装を身にまとい和やかに対局。国籍・言語を超えてペア碁で国際交流を行います。



【4】ベストドレッサー賞

審査委員長に、世界的デザイナーのコシノジュンコ氏(大阪・関西万博シニアアドバイザー)を迎えて実施。この日のためにお洒落をした男女ペアが集まり、会場はいつそう華やかに。民族衣装やジュニアなどの部門毎に審査を行い表彰します。



【5】民族衣装漫画展/展示

日本を代表する漫画家や将来を担う若手漫画家が世界の民族衣装を描きます。日本の文化でもある漫画と世界の民族衣装のコラボレーション企画により国際色豊かな雰囲気をつくります。



【ペア碁とは】

1990年に日本で生まれ、男女2組のペアで対局を行い、従来の囲碁とは異なる発想や戦略が必要なマインドスポーツ。実力だけでなくパートナーへの思いやりや戦略などが強く求められ、また国や言葉の壁を超えてコミュニケーションを図ることができ、世界78か国・地域で親しまれています。

■ シグネチャーイベントとは

大阪・関西万博には、各界の最前線で活躍する8名のプロデューサーが、いのちに関するテーマに添ってプロデュースする8つのシグネチャーパビリオンがあり、各プロデューサーが独自に企画・開催するイベントをシグネチャーイベントと呼んでいます。

■ 世界遊び・学びサミットとは

中島さち子氏がプロデュースする「いのちの遊び場 クラゲ館」のシグネチャーイベント。8月6日(水)～10日(日)の5日間、「多様ないのちが、自分らしくワクワク輝く生成的な協奏の場を創る」を共通のフィロソフィーとし、株式会社 steAm、公益財団法人日本ペア碁協会、公益社団法人発明協会、学校法人立命館、ぴあ株式会社、「体験の機会のある場」研究機構などの団体が国や立場、世代を超えて未来の遊びや学びについて多角的に語り表現し合う場となります。

さまざまな五感を使う双方向の展示・体験、多様なワークショップやイベントを実施、多彩な人との関わりによって、誰もが持つ多様な創造性をひらくことができる社会・文化を構築する、「創造性の民主化」を目指します。



中島さち子氏

大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー